

兵庫 県
保険 医協会

宮屋 支部
西芦 支部
ニュース

N o. 304

2012・4・25

発行

兵庫県保険医協会

西宮・芦屋支部

西宮市石劔町十八ー八

大森内科医院内

連絡先 兵庫県保険医協会

電話 〇七八 (三九三) 一八〇一

第18回医療過誤訴訟セミナー

常に訴訟を念頭に日々の診療を

4月7日、西宮市立勤労会館で「医療問題の初期対応と保険」をテーマに第18回医療過誤訴訟セミナーを開催。鵜飼万貴子弁護士(大阪・米田正邦弁護士事務所)が講師を務め、医師・メディカルスタッフら16人が参加した。司会を務めた半田伸夫先生(西宮市・半田医院)の感想文を掲載する。

花冷えの4月7日土曜日、18回目となる医療過誤訴訟セミナーが開催された。

今回も医療問題を多く手掛ける鵜飼万貴子弁護士を講師にお招きして、医療事故関係の保険に関する講演をお願いした。その内容をまとめてみた。

1. 初期対応

(1) 医療事故が起こった場合や患者さんがクレームを言う場合はどうするか? まずはカルテをきっちり書く。カルテ開示の方法を決めておく。追記することとは可能だが、追記日時を併記する。診療以外のこと(法的な内容など)はカルテには記載しない。自分が加入している保険はどのタイプか。日医医師賠償保険



医賠償について解説する講師の鵜飼弁護士

か、他の医業賠償保険なのかを確認する必要がある。日医医師賠償保険は医療上の事故のみの保険であり、医療施設条項や、法人下での他の医師の事故まではカバーされていないとのこと。

(2) 保険でカバーされるかどうかは、事前に保険会社に確認をする必要がある。また問題が起こった場合は遅滞なく医師会へ連絡しておく必要がある。

2. 保険で支払われる損害額とは? 賠償と補償との違い

医師賠償保険では過失が無い限り支払われない。産科医師補償制度では過失が

無くても支払われる。支払ってもらえる金額は、必ずしも全額カバーされるわけではないことも知っておきたい。

3. 複数の行為者が絡む場合(複数の保険の関係、病院と医師個人との関係)

医師の過失分として全体の2割を支払うように判決が下されている場合もある。また最近では損保会社が病院を訴えた例もある。今回の場合、損保会社が被保険者の障害が関係者すべてに不真正連帯責任があると考え、その原則を逆手にとって訴えたのかもしれないが、まだ係争中であり今後の状況を観察するしかない。

4. いつまで保険に入っておく必要があるのか。

かなり前の行った医療行為について、予想外に患者さんから損害賠償を請求された。随分前の出産にかかわる訴訟事件では、訴えられた時点で医師は医院を息子さんに譲り、B会員であったので、日医医師賠償保険外とのこと。

医療訴訟そのものは減っているものの、常に訴訟のことも念頭に置き、自分の行っている医療行為が現状の医療水準に合致しているかどうかを考えながら診療する必要があると、あらためて気持ちを新たにしたい講演でした。

【西宮市・半田医院 半田 伸夫】

第1回ファイアサイド・デイスカッション

患者との信頼関係の構築が重要

3月31日、西宮市立勤労会館で「医療コンプライアンスを考える」をテーマに



参加者から多数の質問が出されざっくばらんな会となった

第1回ファイアサイド・デイスカッションを開催。話題提供を後藤啓二弁護士(神戸市中央区・後藤コンプライアンス法律事務所)、司会を伊賀幹二先生(西宮市・伊賀内科・循環器科)が務め、医師・メディカルスタッフら12人が参加した。

後藤先生は、「平成11年の患者取り違え事件以降、医療に対する社会の目は厳しくなっており、医療事故に対して刑事事件で起訴される事案も増加するなど医師が抱えるリスクは高くなっている反面、それに対する備えが十分でない先生が多い」、「従来あった企業や医療機関内における『ムラ社会のルール』は通用しなくなり、あらゆる組織においてコンプライアンス(法令遵守)が強く求められる時代になっている」と指摘。医療過誤訴訟においても「患者救済」の視点が強い判決が目立つ傾向

にあり、普段から医療事故防止のため医療機関全体で組織的に取り組む必要があると訴えた。

また、コンプライアンスとは「社会からの要請に応えること」であり、相手の立場に立った対応を行うことが肝要とした上で、具体的には「患者さんや家族の気持ちに寄り添って医療行為について十分な説明を行い、信頼関係を築いておくことが訴訟リスクの低減にもつながること」、「自分に非があれば真摯に謝罪することも大切で、それが必ずしも裁判上の過失を認めることにはならないこと」、「その上で患者さんの要求がエスカレートしてきた場合には、弁護士や医師会・協会に相談すること」などをアドバイスした。

参加者からは「医師は応召義務を負うが、どんな場合でも診察に応じなければならぬのか」、「不当な査定に対して裁判で争うことはできるか」、「法律上の因果関係とはどのようなものか」など多数の質問が出され、ざっくばらんなデイスカッションとなった。

2012年診療報酬改定研究会 (医科)

実質マイナス改定に怒りの署名続々

3月22日、西宮市立勤労会館で2012年診療報酬改定研究会を開催し、医師・メデイカルスタッフら199人が参加。安岡眞奈美先生(西宮市・安岡クリニック)の司会のもと、大森公一支部長(西宮市・大森内科医院)が挨拶、林田英隆先生(西宮市・林田クリニック)が情勢報告を行い、川崎史博先生(西宮市・川崎医院)と中島敏雄先生(西宮市・中島クリニック)が、講師を務めた。

研究会では、保団連発行書籍『点数表改定のポイント』を使い、新設項目などを中心に改定内容について分かりやすく解説。「一般名処方をした場合のカルテ記載をどうするか」など、よく寄せられる質問にも答えた。また再診料が据え置かれ、長期収載品医薬品の引き下げを含むと実質のマイナス改定であること、「入院から在宅へ、医療から介護へ」の露骨な誘導を進める内容であることなど、今次改定の問題点も浮かび上がった。協会研究部が行った点数改定による影響調査によると、プラス1.379%とされた技術料においても、一般的な内科や外科の診療所で汎用される点数はほとんど据え置かれており、検査の包括点数引き下げなどにより実質ゼロ改定となっていることが明らかとなっている。

林田先生から診療報酬引き上げ、窓口負担軽減などを求める請願署名の協力が訴えられると、161筆の署名が集まった。



講師の川崎先生(右)と中島先生(左)

奈良県「春鹿」醸造酒蔵見学会

身も心も温まった酒蔵見学会

2月26日に奈良県の清酒「春鹿」醸造元株式会社今西清兵衛商店で酒蔵見学会を開催。医師・歯科医師・薬剤師ら8人が参加した。参加者の感想文を掲載する。

現地集合の利き酒会ということで、乗り換えなしの阪神・奈良直通特急に乗り、約1時間で古都奈良に到着。ならまちを散策しながら春鹿醸造元へ向かいました。今回、保険医協会からの参加者は8名。他のグループもあつて見学会は結構賑わっています。スタッフの案内で、酒造工場内へ。まず先週出来たばかりの大

奈良県の「春鹿」酒蔵の前で
参加者全員そろって記念撮影

吟醸新酒を試飲。木の香り、「おいしい!」この新酒目当てで参加される方も多いとか。入口には大きく標語が掲げられています。1・米を磨く、2・水を磨く、3・技を磨く、4・心を磨く。自院でも使いたくなるような良い言葉です。精米率を高くして中心の純粋の澱粉だけのお米でお酒を造ると、よりおいしいお酒になるとか。削った周りの米粉は京菓子になるそうです。工場内には仕込みの終わった酒樽が整然と並び、日本酒の良い香りが充満していました。酒作りの工程見学の後、いよいよ利き酒会です。

「今から、利き酒の仕方を御説明:」「口に含んで香りを確かめてから:」蔵人の親切な解説も上の空、並んだお酒をお猪口で順番に味見していきます。最後に市場に出ない甘酒が振る舞われる頃には皆さんすっかり出来上がって、中には湯呑でぐいぐい味見?されている方も。春鹿の看板をバックに集合写真に収まり現地解散。

寒空の中、お酒のお陰で身も心も温まりました。楽しかったので来年もぜひ企画してほしいとの声も。幹事の先生方、事務局の方、ありがとうございました。

【西宮市・末武歯科医院 末武 伸敏】

第28回漢方研究会

日時 5月12日(土)17時~19時

会場 西宮神社会館2階 福寿の間

講師 川崎医科大学 総合内科学I 教授
沖本 二郎 先生

テーマ 「慢性咳嗽の漢方治療」

参加費 無料

職員接遇研修会

~接遇の基本とクレーム対応~

日時: 5月12日(土)14時~16時

会場: 西宮大学交流センター

講師: 大手前短期大学準教授
水原 道子 先生

参加費: 1,000円(要事前申し込み)

— 医療安全管理受講証を発行します —

世話人会だより

西宮・芦屋支部は3月23日に西宮医療会館で世話人会を開催。6人が参加した。

【報告】

①「春鹿」醸造 酒蔵見学会(2・26)

②診療報酬改定研究会(3・22)

【予定・企画】

①第1回ファイアサイド・ディスカッション(3・31)

②第18回医療過誤訴訟セミナー(4・7)

③第28回漢方研究会(5・12)

④職員接遇研修会(5・12)

⑤第2回ファイアサイド・ディスカッション(5・26)

⑥第32回支部総会(7・21)

⑦毎日の診療に役立つiPad・iPod・iPhone

⑧健康と医療について語り合う会

⑨第29回在宅医療研究会

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。